

## 育成を目指す資質・能力

<本時のねらい>

人間として互いの連帯を自覚し、みんなが安心して過ごせる社会を築こうとする心情を育てる。 C - (10)

## ICT活用のポイント

・意見の集約・共有の時間短縮

・生徒同士の「よさの気付き」

・教師の「指名のしやすさ」

### 【つかむ】

前時の振り返りを、電子黒板で確認し、本時の課題をつかむ。

全員が気持ちよく過ごせる  
よい社会を作るには？

### 【追究する】

課題についてグループで話し合ったことをもとに、ロールプレイを行い、全員が気持ちよく過ごせる社会にするために大切なことは何かについて考える。

### 【まとめる】

課題についてまとめ、本時の学びを振り返る。

## 事例の概要

<場面・状況・目的>

- ・導入の場面において、前時を振り返りつつ、本時の課題を設定するために、生徒が前時に学習支援ソフトに記述した、振り返りを電子黒板に映す。
- ・まとめにおいて、様々な意見に触れることができるよう、学習支援ソフトに入力した各自の意見を全体で共有し、振り返りへつなげる。

### 【事例におけるICT活用の場面と目的①】

- ・導入の場面において、前時を振り返るとともに、生徒の言葉から課題を設定するために、前時にデータ提出した意見（前時の振り返り）を電子黒板で確認する。

### 【事例におけるICT活用の場面と目的②】

- ・考えを共有する場面で、電子黒板やICT端末を使い、データ提出、一覧表示する。

### 【事例におけるICT活用の場面と目的③】

- ・「振り返り」を共有することで、多面的・多角的に考えることや、「よかった意見を友達同士で伝え合う（紹介し合う）」活動につなげる。

# 【道徳・中3・「缶コーヒー」 C 遵法精神、公德心】②

## 【ICT活用の場面①】

前時の振り返りを電子黒板で確認しながら、課題を設定

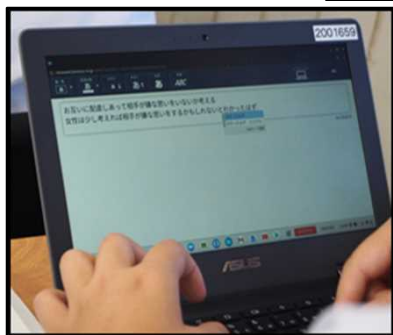


社会全体に  
悪いところがある  
気がする...

社会をよくしたい!

「よい社会」とは、  
全員が気持ちよく  
過ごせる社会

よい社会を  
作るには?



【ICT活用の場面②】  
学習支援ソフトに  
自分の考えを表す

【ICT活用の場面③】他者の考えに触れて、学びを深める



○児童生徒及び教師にとってのICT活用のメリット等

導入…電子黒板を用いて、前時の振り返りを見返す中で、生徒の言葉から、課題を設定できた。

※生徒に目指したいゴール（考える視点）を明確に掴ませることができた。

終末…課題に対して、自分の意見をまとめていく際に、学習支援ソフトや電子黒板を活用して他者の意見に触れ、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていた。

※学習支援ソフトで意見の共有をした後、「自分が良いと思った友達の意見」について意見交流するという工夫ができた。

○ICTを効果的に活用するためのポイント

- ・生徒の活動（ロールプレイや話し合いなど）を確保するために、即時共有や時間短縮ができる、ICTならではの利便性を考え活用
- ・導入とまとめの部分で活用したことによって、自身の考えの深化や変容が捉えられるという視点で活用

<まとめ>

- ・周りをよく見て、人の気持ちを考える。
- ・注意し合える関係を築くこと。
- ・やさしい言葉を遣い合うこと。

<振り返り>

- ・問題を起こさないように無難に生活しているだけではよくない。
- ・明確なルールがなくても、相手や周りのことを考えることが大切。

【活用したソフトや機能】

- ・学習支援ソフト
- ・ホワイトボード機能